

ケトチフェンシロップ 0.02% 「日医工」

【この薬は？】

販売名	ケトチフェンシロップ 0.02% 「日医工」 Ketotifen Fumarate Syrup 0.02%		
一般名	ケトチフェンフマル酸塩 Ketotifen Fumarate		
含有量	1包 (2mL) 中 0.552mg (ケトチフェンとして 0.4mg)	1包 (3mL) 中 0.828mg (ケトチフェンとして 0.6mg)	1包 (5mL) 中 1.38mg (ケトチフェンとして 1.0mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アレルギー性疾患治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、アレルギーの原因となる物質（ヒスタミン）や炎症を起こす物質の作用を抑え、アレルギー症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

気管支喘息

アレルギー性鼻炎

湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、皮膚そう痒症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にケトチフェンシロップ「日医工」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・てんかんのある人、または過去にてんかんと診断されたことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・てんかん以外のけいれん性疾患（熱性けいれんなど）のある人、または過去にこれらの疾患と診断されたことがある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、小児の飲む量及び回数は、体重 1kg あたり 1 回 0.15mL を 1 日 2 回、朝食後と就寝前に飲みます。

〔年齢別標準服用量〕

	6 ヶ月以上 3 歳未満	3 歳以上 7 歳未満	7 歳以上
一回量	2mL	3mL	5mL
飲む回数	1 日 2 回（朝食後と就寝前）		

●どのように飲むか？

- ・決められた 1 回量を飲んでください。
- ・1 回分を切り離し、容器を立てた状態で矢印の方向にゆっくりと回し、開封して飲んでください。（下図の〈ケトチフェンシロップ 0.02% 「日医工」の飲み方〉を参照）

〈ケトチフェンシロップ 0.02% 「日医工」の飲み方〉



●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れた場合は、気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲

む時間が近い場合は、1回分とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

傾眠（ぼんやりする）、見当識障害（自分のいる場所や時間などがわからなくなる）、チアノーゼ（唇や皮膚が青紫色から暗紫色になる）、呼吸困難、発熱、錯乱（意識が乱れる、考えがまとまらない）、けいれん、頻脈、徐脈、低血圧、眼振（不随意におこる目の運動）、可逆性昏睡（意識がなくなる）、特に小児では興奮性亢進、けいれんなどがあらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに使用を中止して受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は、毎日規則正しく使用する薬で、気管支喘息に用いる場合、すでに起きている喘息の発作や症状を速やかに改善する薬ではありません。患者さんまたは家族の方は、正しい使用方法について十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・眠気をおこすことがありますので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は行わないでください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


重大な副作用	主な自覚症状
痙攣 けいれん	けいれん
興奮 こうふん	興奮しやすい
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、白目や皮膚が黄色くなる、尿が黄色い
黄疸 おうだん	白目や皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、けいれん
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐

部位	自覚症状
胸部	吐き気
腹部	食欲不振、吐き気
皮膚	皮膚が黄色くなる、かゆみ
尿	尿が黄色い、尿が褐色になる
その他	興奮しやすい

【この薬の形は？】

外形	容器に入ったシロップ剤 (上面) (側面) 
大きさ	縦 : 23mm 横 : 68mm 厚さ : 12mm
内容物	無色～微黄色澄明の粘性の液 芳香があり、味は甘い
識別コード	OS36

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ケトチフェンフマル酸塩
添加剤	リン酸水素ナトリウム、クエン酸、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル、白糖、D-ソルビトール、香料、グリセリン、エタノール

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL (フリーダイヤル)：(0120) 039-215

受付時間：9時～17時（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）